

経営研修会を開催

— 見積もり知識の向上を目指して —

ACTIVE KUMIAI

山梨県自動車車体整備協同組合



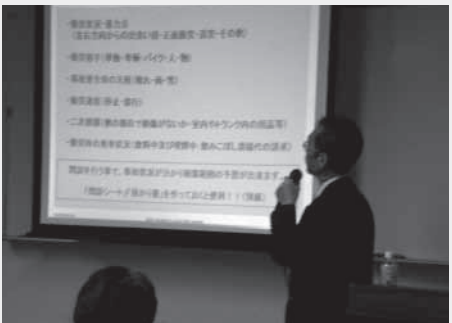
市川理事長の開会挨拶

山梨県自動車車体整備協同組合(市川清理事長)は、9月27日に甲府市「中央会研修室」において見積書作成知識向上を目的とした研修会を開催した。

研修会は、お客様に対し作業内容の説明は勿論、正確な料金提示も行わなければならないという説明責任があるとの考えから、業界屈指の経営コンサルタントである(株)

ブロードリーフを招き「目指せ!街の頼れるクルマ屋さん!」をテーマに行われ、自動車板金見積ネットワークシステムが紹介された。

多くの事業所では、見積もり作業を経営者自らが手書きで担当するが、正確な見積もりを行うためには、部品や車体構造の知識、最新の部品価格の情報を確認しながら行わなければならない、見積もりに費やされた時間を短縮し現場の作業の効率化につなげたいところ。逆に経営者自らが板金・修理等の現場の作業に追われ、部品知識の乏しい事務スタッフが粗見積もりを作成するケースもあり、顧客満足度の面が不安視されていた。提案されたシステムはそれらの課題を解消するもので、見積もり作業時間の大幅な短縮は、顧客情報の管理や新たな提案など更なる業務拡大が期待されている。なお当日の出席者は、組合員100社中60社で関心の高さがうかがえた。組合では今後も個々の経営課題の共有に努め、定例的に研修会を開催し、組合員企業の経営力向上と組合活動の活性化を目指していく。



研修の様子